

陽豊(ようほう)

登録番号：第2888号

登録年月日：平成3年11月19日

登録者：農林水産省果樹試験場

(茨城県つくば市藤本2-1)

育成者：山根弘康 栗原昭夫 永田 賢嗣
山田昌彦 岸 光夫

吉永勝一 松本亮司 金戸

橘夫 角 利昭 平林利郎

小澤俊治 広瀬和栄 山本

正幸 角谷真奈美

来歴：「富有」と「次郎」の交雑
実生

特 性

■栽培特性

樹勢は「松本早生富有」より強く、「富有」並である。樹姿は開張と直立の中間で、枝の発生密度は中位、発育枝の長さは「富有」よりやや短い。雌花の着生は多く、遅れ花も着生する。雄花は着生しない。発芽・展葉期は晚い方で、開花期も晚く「富有」とほぼ同時期である。単為結果性が強く、早期落果が少なく、後期落果もないので、結実性の優れた品種である。種子形成力もかなりあり、受粉樹が近くにあれば平均3～4個の種子を形成する。しかし、受粉して種子のできた果実は、成熟期には果頂部の花柱痕のところが黒変し、微小な果頂裂果を生じやすいため、受粉をさせないようにして栽培するのが良い。種子のない果実は果頂部が扁平となり、花柱痕が黒変したり裂果したりすることはなく、外観の良い果実となる。結実性が優れるので、摘らいを強くし、葉花比13程度にまですると大果生産上有利である。他の栽培管理は「富有」に準じて行えば良い。

■果実特性

完全甘ガキであり、種子の有無と脱渋との関係はなく、果肉の褐斑も少ない。果実成熟期は「松本早生富有」とほぼ同時期で、「富有」より2週間程度早い。果実は扁円形で「富有」と同程度の大きさである。果皮色は「富有」より赤く、育成地(広島県安芸津町)ではカラーチャート値7～8で収穫できる。糖度(屈折計示度)は17.5%程度で「富有」よりやや高い。肉質は「富有」より硬く、果汁も「富有」より少ないので、収穫直後は「富有」より食味が劣るが、やや軟化すると軟らかく果汁も多くなる。食べ頃が「富有」より短い品種といえる。へたすきの発生は「松本早生富有」とほぼ同程度であり、果頂裂果は無種子果では全く生じない。汚損果の発生程度は「富有」とほぼ同程度である。日持ち性は良好で、収穫時期にもよるが「松本早生富有」とほぼ同程度である。

■病虫害抵抗性

病害抵抗性は「富有」とほぼ同程度であると考えられ、これまでの試験栽培の中で特に問題となる病害は認められていない。また、「富有」と異なり、果皮がチャノキイロアザミウマの被害をやや受ける。開花前後に殺虫剤の散布をしなければならない場合でも、単為結果力が強いいため、結実は安定している。

■地域適応性

完全甘ガキであり、寒冷地では自然脱渋しない。「富有」栽培地域で栽培が可能である。

(山田昌彦)